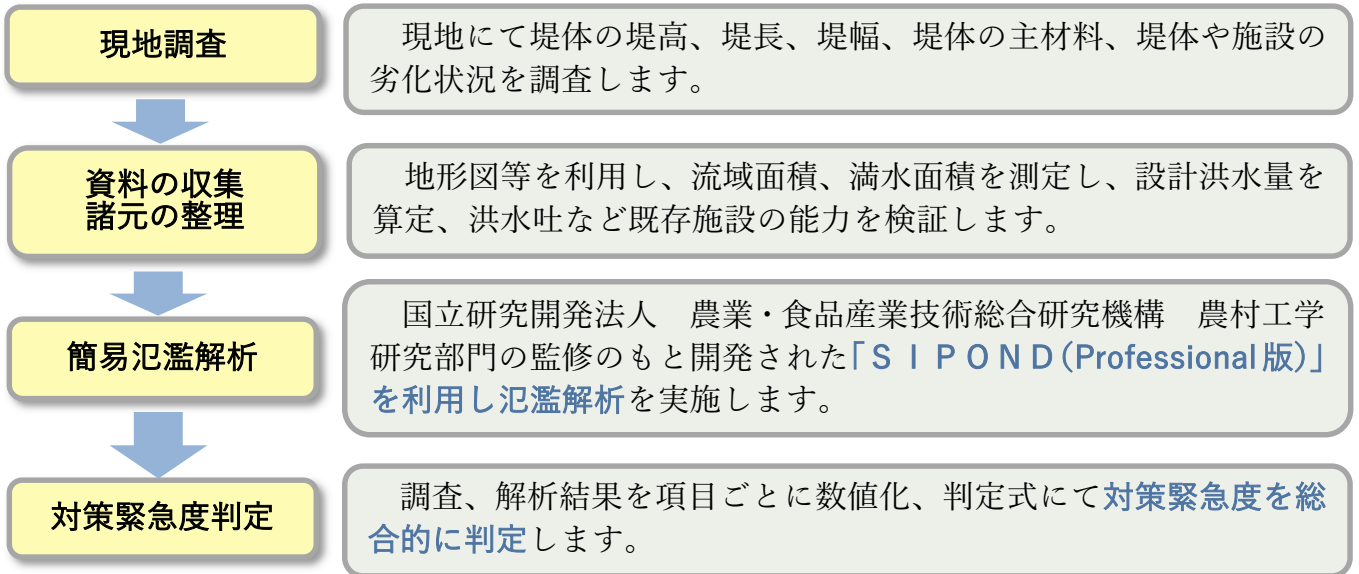


6 ため池調査・氾濫解析業務について

頻発化する大規模自然災害に対応するため、ため池の実態把握が急務となっています。本業務では、ため池の劣化状況の把握に加え、決壊時の被害規模をシミュレーション（簡易氾濫解析）し、対策緊急度を判定します。

(1) ため池調査・氾濫解析業務の流れ



(2) アウトプット（簡易氾濫解析図、対策緊急度判定個表）

簡易氾濫解析図

対策緊急度判定個表

項目	項目名	数値	配点	計算	
堤体の構造	堤体材料	a) 砂質土	5	1	
	b) 砂質土	3			
	堤高	a) 10m以上	3	1	
	b) 5m以上~10m未満	2			
	堤長	a) 50m以上	3	2	
	b) 50m以上~100m未満	2			
	天端幅	a) 2m未満	3	1	
	b) 2m以上~3m未満	1			
	堤体の形状	断面形状	a) 2m未満	10	10
		b) 2m以上~2m未満	5		
断面形状		a) 20m以上	10	0	
b) 10m以上~20m未満		5			
クランク	a) 5m以上	30	0		
	b) 5m未満	15			
堤体状況	a) 堤体に凹凸や亀裂	30	0		
	b) パイロピアに必要数の杭	15			
基本型	a) 標準型	15	10		
	b) 標準型でない	10			
緊急決壊設備等	a) 有	5	0		
	b) 有(機能不全も含む)	15			
各種年代	a) 大正以前	10	0		
	b) 昭和以降	0			
合計	合計	149	40		

項目	項目名	数値	配点	計算
ため池劣化係数	a) 200~	60	0	
	b) 170~200	50		
	c) 120~170	15		
	d) 60~120	5		
	e) 10~60	5		
ため池劣化係数	a) 過去10年に修繕履歴あり	10	0	
	b) 過去10年に修繕履歴なし	5		
保線記録	a) 記録に添字する記録で記録	10	0	
	b) 添字を記入し記録が有	5		
合計	合計	80	5	

氾濫区域内の人家戸数確認

4. 総合判定結果

緊急整備の優先度が高い	●
早急な整備が望まれる	●
整備の緊急性は低い	●

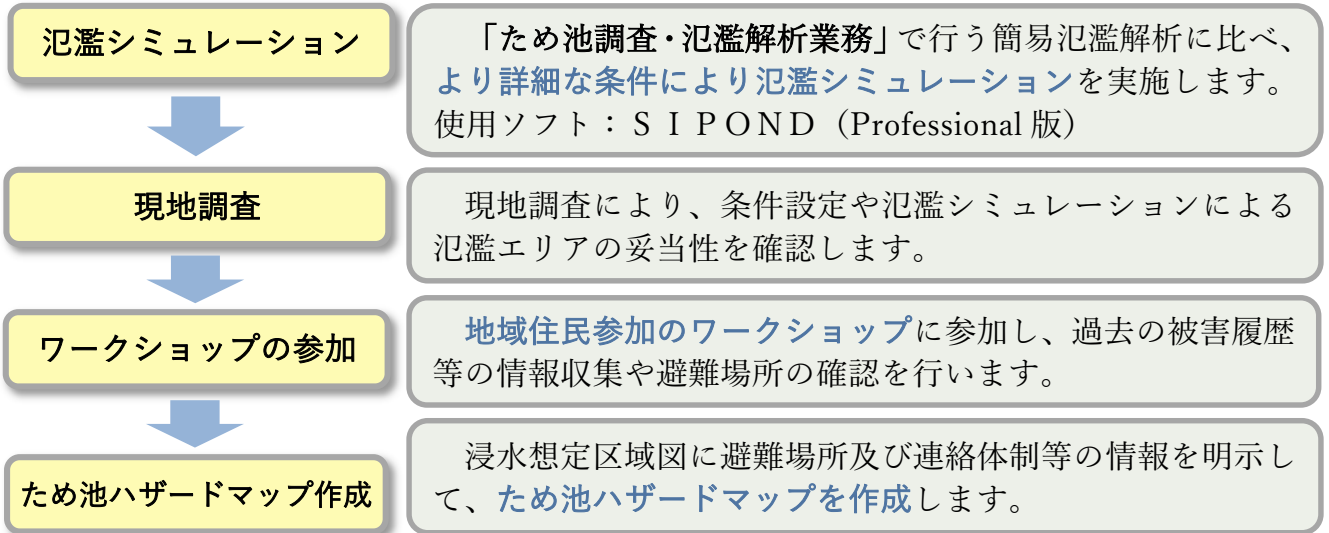
ため池の調査や氾濫解析が必要なため池がありましたら、ご相談ください。

【 農村整備第一課・第二課 TEL 019-631-3203 】

7 ため池ハザードマップ作成業務について

「ため池調査・氾濫解析業務」で作成したデータベースをもとに抽出された「防災重点ため池」は、下流域への影響度に応じて対策を講じる必要があります。本業務では、詳細な条件により氾濫シミュレーションを実施、ため池ハザードマップを作成します。

(1) ため池ハザードマップ作成業務の流れ



(2) アウトプット（氾濫シミュレーション、ため池ハザードマップ）

氾濫シミュレーション

ため池

ため池ハザードマップ

ため池

ワークショップの開催

ハザードマップ作成に向けた技術的な支援を行いますので、ご相談ください。

【 農村整備第一課・第二課 TEL 019-631-3203 】